

リバーズワックス取扱説明書

このたびはご購入いただき誠にありがとうございます。
お使いになる前に本説明書をお読みください。



1.はじめに

本製品は、消臭スプレーのように塗布して瞬時に臭いが消せるものではありません。

塗布後、ワックスに含まれる水分が抜けて乾燥するにつれて徐々に化学物質・臭いが減少していきます。
塗布対象物やその材質によって期間は異なり、早い場合は3日～1週間、材質によっては30日前後を要する場合もございます。

リバーズワックス自体は乳白色ですが、乾燥後は無色です。

2.使えないもの

- ワックス不要タイプのフローリング
- 塗装済みの木材
- メラミン・アクリル等樹脂製品
- 大理石等の石材 など

ワックスが密着せず剥離したり、光沢が不均等になったりするため、ワックスを弾く素材には適しません。
フローリングはワックスがけ可能なものをご使用ください。

どうしてもこれらの素材に塗る必要がある場合には、ワックスが付着するよう、一度ヤスリなどでこすって表面をザラザラにしてから塗布することで付着させられる場合もあります。

3.「塗っても臭いが消えない」「塗ったら余計に臭いがするようになった」という場合

水分を多く含むリバーズワックスは、塗った直後、水分が蒸発しきらないうちはワックス臭がします。水分が飛び乾いていくにつれて臭いは減少し、完全乾燥後はワックスの臭いは残りません。

「ワックスを塗ったのに臭いが消えない」というケースは、この水分が完全に抜けきっていないことが原因の場合が多いです。

また、ワックス塗布後、塗る前よりも家具等の刺激臭を強く感じる場合がございます。これは、ワックスの水分が材質内部に浸透し、乾燥する過程で水分が抜けることに伴って内部の刺激臭と一緒に発散される場合に起こる現象です。臭いはワックスの乾燥とともに減少していきますのでご安心ください。

クッションフロアの場合は、貼り付けに使った床糊の水分が飛ばないことにより、糊から臭いが出ることも影響します。

4.塗る前に必ず端材などで試し塗りをし、仕上がりを確認してください

特に無垢材に塗布する場合、無垢材の種類によって仕上がりに違いが生じる場合がありますので、必ず事前にご確認ください。

5. 塗布回数の目安

【フローリングの場合】

1 回塗りで効果を発揮し、重ね塗りでツヤが出ます。1 回塗りではあまりツヤが出ませんので、ツヤを抑えたい場合は 1 回塗りに留めてください。ツヤを出したい場合は 2～3 回重ね塗りしてください。
複数回塗ることでワックスの表面強度が増し、1 回塗りの場合よりも長持ちします。

【無垢フローリングの場合～風合いを活かすための塗り方～】

●風合いを残したい場合は 1 回塗りにします。

無垢の風合いや香りを活かしつつ化学物質(αピネン、リモネンなど)低減効果を得られます。

●風合いを活かしつつ汚れも防ぎたい場合は 2 回塗りにします。

ヒノキなど香りの強い木材は刺激臭が減ってやわらかな香りになります。

●ツヤを出したい場合は 3 回塗りにします。

木材の色は濃く感じられ、香りはやわらかく感じられる程度になります。また、表面強度が増すため汚れ防止にもなります。



【家具の場合】

臭いの程度により 2～3 回重ね塗りしてください。

【重ね塗りの注意点(フローリング・家具共通)】

- 重ね塗りする場合は、先に塗ったワックスが完全に乾いたことを確認してから塗ってください。
- 塗布後乾燥させることでワックスの塗膜が形成されます。「〇〇回塗り」の回数は、この塗膜ができた回数を指します。乾燥が不十分で塗膜が形成されないうちに複数回塗っても 1 回塗りと数えます。
例) 1 回目塗布→乾かないうちに重ね塗り…1 回塗り(×2 回塗りとは数えません)
- 初めの塗布では浸透していくため、1 回塗りではあまり光沢が出ません。2 回目、3 回目と塗っていくと次第に光沢が出てきますので、お好みに応じ塗り回数を決めてください。
塗り重ねるにつれて元の木材の色が濃く感じられる場合があります(素材や塗布回数によって異なります)。

6-1.フローリングへの塗布

1Lで約100m²塗布可能(1回塗り)です。

塗布後60分で歩行可能(室温25℃の場合。気温や湿度によって乾燥時間は前後します)。

剥離したい場合は市販の剥離剤をご使用ください。

【手順】

- ① 既に別のワックスが塗ってある場合は、剥離剤等で剥がしてから作業を開始してください。
どうしても剥がすのが困難な場合は、目立たない部分で試し塗りをして剥離しないか確認してから塗布してください。
- ② リフレパウダー希釈水(水1Lに対してリフレパウダー1gを溶かした水)で塗布面をきれいに掃除し、ワックスモップまたは刷毛で塗布します。
床表面に傷がある場合は傷の部分に先に刷毛で塗り、他の部分と厚さを同じにしてから全体に塗って均一に仕上げてください。
傷部分と他の部分を同じように塗ると、凹凸になり平らに仕上がります。
- ③ 複合フローリングの場合は“さね”部分(フローリング材のつなぎ目の凸、凹部分)にも塗布すると化学物質低減にいっそう効果的です。
化学物質に敏感な方の場合には施工を推奨します。
- ④ 塗布後は扇風機などを使い、よく乾燥させてください。



6-2.夏季など気温が高い日は乾燥時間が早まるのでご注意ください(塗布後30分前後)

- ・乾燥時間が短くなりますので、途中で作業を中断せず一気に施工してください。
- ・途中で中断するとその部分のムラが目立ってしまいます。
- ・やむを得ず中断する場合は、区切りの良い所で中断するか、フローリングの目地に沿ってテープिंगし、そこで中断してください。

6-3.化学物質に敏感なため無垢フローリングを使用する場合

無垢材からもαピネン・リモネンという天然の化学物質が発散されます。これらはいわゆる“木の香り”の成分で、癒される・良い香りだと感じる人もいる一方、化学物質に敏感な方は反応してつらいと感じることもあります。

無垢フローリングを使用してもお施主様から化学物質がつらいなどの相談を受けた場合は、複数回重ね塗りするか、別冊「リバーズ工法施工マニュアル(リバーズ工法資材施工要領書)」の「1.柱等の木材、合板への噴霧作業」で使用する噴霧液を噴霧してから※リバーズワックスを塗布することを推奨します。

※「化学物質はつらいけど無垢材の風合いはできるだけ失いたくない」といった場合には噴霧と塗布の組み合わせが有効です。

6-4.無垢材をふんだんに使った住宅の場合

天井や壁を無垢の板張りにしていたり、梁をあらわしにしていたりするなど、無垢材をふんだんに使った住宅の場合は、ホルムアルデヒド等の濃度が厚生労働省の濃度指針値をクリアしていても、 α ピネン・リモネンの 2 物質だけでトータル VOC 暫定目標値と同等レベル、あるいはそれを超えた数値が検出されるケースがあります。

トータル VOC を抑えたい場合は、無垢フローリングだけでなく、それ以外の無垢材の部分にも塗布が必要です。

6-5.その他の注意事項

- 床暖房のフローリングにも塗れます。床暖房の電源を切って常温に戻してから施工してください。
- 床暖房を使用する場合、温められることで初めのうちは臭いが出てくる場合があります。
- 海外からの輸入木材の場合、防虫の目的で木材に薬剤処理が施されている場合があります。
お施主様が化学物質に敏感な方の場合、別冊「リバース工法施工マニュアル(リバース工法資材施工要領書)」※の「1.柱等の木材、合板への噴霧作業」で使用する噴霧液を木材に噴霧してからリバースワックスを塗布することを推奨します。
※「リバース工法施工マニュアル(リバース工法資材施工要領書)」は、リバースジャパンウェブサイトの資料ダウンロードページ(<https://www.rebirth-j.com/download/>)よりご覧いただけます。
- リバースワックス塗布済フローリングの掃除には化学雑巾や高温になるスチームクリーナーは使用しないでください。化学雑巾に含まれる成分によって滑りやすくなる、高温の蒸気でワックスが剥げるなどのおそれがあります。
- フローリングに剥がれや摩耗を感じられましたら塗り直しを行ってください。

7.家具への塗布

- ① 塗る対象物の素材を確認する。
- ② 周囲を汚さないよう、新聞紙やビニールシート等を敷いてから作業を開始してください。
- ③ 塗布面のゴミなどは掃除機等を使い事前に取り除いてください。
- ④ 家具の表面・側面・背面・内部の合板部分、引き出し(表面・側面・内側・底面)などに、ワックスを含ませた刷毛で木目に沿って塗布してください。
引き出しの臭い対策として塗る場合、引き出しだけでなく、引き出しを取り出した後の本体内部(合板部分は特に)にも、引き出しと同じ回数を同様に塗布してください。
- ⑤ 塗布後は扇風機などを使い、よく乾燥させてから衣類等を収納してください。
- ⑥ 乾燥時間は、気温や湿度によっても前後しますが、大体 1 時間程度です。





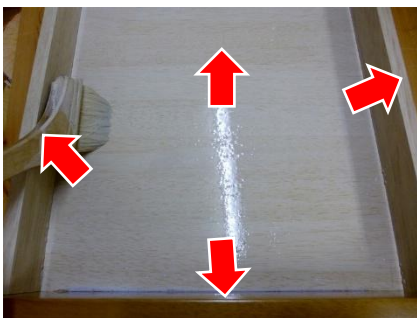
■ベッドは特に下記の部分に塗布してください。

- ・引き出しの内部、裏面
- ・フレームの内側未塗装部分
- ・ベッド足の上下未塗装部分
- ・その他塗装されていない部分



■タンスは特に下記の部分に塗布してください。

- ・表面
- ・側面
- ・背面
- ・内部(上下側面)
- ・引き出し表面
- ・引き出し内側
- ・引き出し側面
- ・引き出し底面裏側

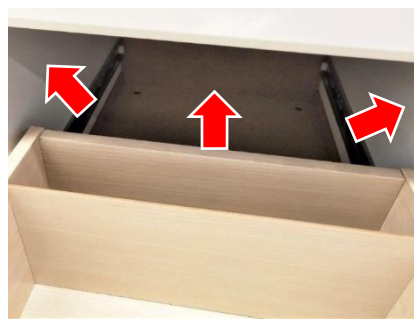


■引き出しについて

タンス等から引き出しをすべて取り出し、刷毛で内部、外部、底面、裏側に塗布します。

引き出しを取り出した後のタンス・机等の本体内部・背面にも同様に塗布するのを推奨します※

※家具の内部の材質も引き出しと同じ場合が多いので臭いもきつい場合があるためです。



※ワックスは乳白色ですが、乾燥後は無色です。



■家具の裏面について

家具などの裏面が左記のようになっていたら、ここにも塗布してください。

この部分は特にニオイが強く感じられますので、必ず塗布してください(ニオイの程度に応じて複数回)。

8.よくあるご質問

■ ワックスを塗っているとき、床などに付いてしまったらどうすればいいですか？

- ➔ 床などに付着した場合はすぐに拭き取ってください。床などに垂れてしまわないようにするため、塗布前にビニールシート等を敷いてから作業してください。

■ リバースワックスを塗り終わった後の刷毛は水洗いで良いのでしょうか？

- ➔ 水洗いで大丈夫です。長時間放置すると固まってしまうので、使い終わった後は時間を置かずに洗ってください。

■ 塗っている途中で一時中断する場合、刷毛は水で洗えばいいのでしょうか？そのままにしておくとも固まってしまうので刷毛がダメになるのでしょうか？

- ➔ 中断する場合は、小分けにした容器などに入っているリバースワックスに、刷毛の毛部分が全て浸るようにして置いておいてください。リバースワックスに浸っていない毛部分は長時間放置すると乾燥してカチカチになってしまいます。

■ 説明書の冒頭に「乾燥には3日～1週間、材質によっては30日前後を要する場合がある」との記載がありますが、家具にリバースワックスを複数回塗る場合は、塗って乾かすたびに最短でも3日間待つ必要があるということでしょうか？それとも、2時間ほど経って見た目に乾いていれば、次を塗っていいのでしょうか？

- ➔ 説明書冒頭の「早い場合は3日～1週間、材質によっては30日前後」については、複数回塗布する際の乾燥時間ではなく、ワックスに含まれる水分が抜けて(乾燥して)臭いが減少するまでの期間の目安を示したものです。ですので、重ね塗りする際は見た目が乾いていて、触ってみても乾いていれば次を塗っていただいて構いません。

■ 塗り終わってリバースワックスが少量余った場合は、水で薄めれば流しに捨ててもよいのでしょうか？

- ➔ ワックスを捨てる際は、お住まいの地域の廃棄方法に従ってください。
新潟市の場合は布・新聞紙などに吸わせて燃やすごみですが、地域によって異なるかと思しますので、お手数をお掛けしますがお住まいの地域の自治体にご確認ください。

■ 家具の表面がツルツルしていて、ワックスを弾いてしまってうまく塗れません。どうにか塗る方法はありませんか？

- ➔ 塗りたい面にあらかじめサンドペーパー(紙ヤスリ)をかけてから塗布するという方法があります。
※サンドペーパー(紙ヤスリ)をかけた面は美観が損なわれるため、その点をご承知おきください。
300番～400番くらいのサンドペーパー(紙ヤスリ)を、円を描くようにまんべんなくかけてから、リバースワックスを塗ると良いです。
サンドペーパーは目の細かさによって番号が付いていて、数字が小さいほど目が粗く、大きいほど細かくなっていき、「#」を付けた数字で表されます。
なお、ペーパーをかけたときには粉が出ますので、濡れ雑巾でよく取り除いて塗布面をキレイにし、乾燥させてから、家具にリバースワックスを塗布してください。
P.7の【参考】もあわせてご覧ください。

【参考】

社内実験でカラーボックスにリバースワックスを塗った際、棚板の表面が化粧されており、そのまま塗っても弾かれてしまいました。サンドペーパーをかけてから再度塗ってみたところ、無事に塗ることができました。



ペーパー掛けしている様子。
板が削れて白っぽくなっています。

- 左)ペーパーをかけた後にリバースワックスを塗ったもの
右)ペーパーをかけずにリバースワックスを塗ったもの



9.仕様・注意事項

【製品仕様】

品名	リバースワックス
用途	フローリング、家具、建具
塗布面積	1L で約 100m ²
成分	(スクロース/K/Ca/Na)発酵液、水、メタルフリータイプアクリル系コポリマー、ポリオレフィンワックス、アルカリ可溶性樹脂、レベリング助剤、可塑剤(非リン系)、融合剤、消泡剤

【使用上の注意】

- 雨の日など、温度が低く湿度が高いときは乾燥まで時間を要します。
- 用途以外には使用しない。
- 塗布後は、皮膜が十分に乾燥するまで歩行を禁止する。
- ほかのワックスや洗剤類等との混合や混合使用は絶対に行わない。
- 床面の温度が 5℃以下の時は使用を避ける。
- 塗布直後は大変滑りやすくなっているので、十分に注意する。また、安全確保のため、作業関係者以外の立ち入りは禁止する。
- 液が塗装面や金属面に付着した場合は、速やかに水を含ませたきれいな布で十分に拭き取る。
- 作業に使用する用具、容器等は、必ず十分に洗浄した専用のものを使用する。
- 一度容器から出した液は、汚染防止のため絶対に元の容器に戻さない。
- 環境への放出を避ける。
- 内容物や容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。
- 剥離廃液は産業廃棄物として処理する。(廃液によっては「特別管理産業廃棄物」になる場合がある。)
- 汚染された衣服は再使用する前に洗濯する。
- 使用/取扱いの際は保護手袋、保護眼鏡を着用する。

【取扱・保管上の注意】

- 子供の手の届くところには保管しない。
- この製品を使用/取扱いするときに、飲食又は喫煙をしない。
- 容器の栓を開けるときのほか、別の容器に移し替える場合には、液が飛び出さないように静かに行う。
- 液漏れを防止するため、容器を移動する時はキャップをしっかりと締め、容器を転倒させないように注意する。
- 別の容器に小分けする場合は、製品名を明記した腐食の恐れのない専用の清浄な容器を使用し、誤飲を起す恐れのある容器（飲料用容器等）には絶対に小分けしない。
- 容器及びキャップ類には、鋭利になっている部分があるので、使用および廃棄の際には、充分注意する。
- 粉塵/ミスト/スプレーを吸入しない。
- 作業中及び使用後は充分換気を行う。
- 使用後は手をよく洗い、荒れ性の方や大量に使用した場合は、クリーム等でのお手入れをおすすめします。
- 使用後は密栓し、転倒・落下・損傷などが起こらないように保管する。
- 容器は凍結したり 40℃以上の高温になったりするところでは保管しない。

【応急処置】

- 眼に入った場合:コンタクトレンズを容易に外せる場合ははずして、こすらず 15 分以上流水で眼を洗う。もし異常があれば医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合:水と石鹼で十分に洗浄する。もし異常があれば速やかに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合:大量の水、牛乳または生理食塩水を飲ませ、無理に吐かせず、直ちに医師に相談する。
- 使用中気分が悪くなった場合:空気の新鮮な場所に移す。速やかに医師の診察を受ける。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡する。

警告

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）

- 粉じん/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 内容物/容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。